専門リハビリテーション研究会補装具研究部会
第 10 回義肢適合支援のあり方研究会

Ⅰ．期日・場所

日時：平成 30 年 2 月 18 日（日）　10:00～16:10(受付 9:00～)

場所:東京医科歯科大学　3 号館　18 階　保健衛生学科　講義室 1

〒113-8510 東京都文京区湯島１－５－４５

Ⅱ．講　　師

医師　　：寺部雄太（東京西徳洲会病院）

理学療法士：原　和彦（埼玉県立大学）

理学療法士：岡安　健（東京医科歯科大学医学部附属病院）

理学療法士：宮城新吾（JR 東京総合病院）

義肢装具士：越前谷務（株式会社田沢製作所）

義肢装具士：幸村久弥（川村義肢株式会社）

Ⅲ．関 連 趣 意

下肢切断者への適切な支援を検討する際、各病期の特性を踏まえた「切れ目のない対応」が必要不可欠である。これに加えて、各専門職種が連携することで、より効果的な支援が可能となる。このような状況の中、下肢切断者に対する義肢装着適合や理学療法などの介入には、従来にも増して高い専門性と実践力が必要とされます。そこで、今回は第一線の臨床現場で活躍するそれぞれの職種（医師・義肢装具士・理学療法士等）によるシンポジウムを開催するとともに、各病期での実用的な支援法などの理解を深めるべく、本研修会を企画いたしました。

Ⅳ．テーマ

急性期～在宅へ向けて、途切れのない支援

Ⅴ．内　　容

10：00～12：00　シンポジウム１　「急性期の専門職連携のための共通理解」

講演　　医師：寺部雄太（東京西徳洲会病院）　理学療法士：岡安　健（東京医科歯科大学）

義肢装具士：越前谷務（株式会社田沢製作所）

13：00～15：30　シンポジウム２　「回復期・在宅期のかかわりについて」生活期に向けた連携支援

講演　　理学療法士：宮城新吾（JR 東京総合病院）　義肢装具士：幸村久弥（川村義肢株式会社）

15：40～16：10　義肢に関するトピックス

講演　　理学療法士：原　和彦（埼玉県立大学）

Ⅵ. 対　　象　　理学療法士、義肢装具士、その他義肢支援関係職種

Ⅶ. 定　　員　　150 名

Ⅷ. 参 加 費　　4,000 円、学生 1,000 円

Ⅸ. 共　　催　　義肢適合支援のあり方研究会

Ⅹ. 後　　援　　後援承認済　東京都理学療法士協会、神奈川県理学療法士会、埼玉県理学療法士会
千葉県理学療法士会、山梨県理学療法士会、栃木県理学療法士会

Ⅺ. 連 絡 先　　東京都文京区湯島 1-5-45　東京医科歯科大学医学部附属病院リハビリテーション部
担当：岡安、高田　03（5803）5648　アドレス：gisokutekigou@gmail.com

Ⅻ. 申し込み先　　E-mail：gisokutekigou@gmail.com
下記項目記載の上、申し込み
名前（フリガナ）、日本理学療法士協会会員番号、生年月日、所属勤務先
職種、連絡先（E-mail）